

下関福祉専門学校

実務経験のある教員等による授業科目の一覧

| 分類 |      |      | 授業科目名     | 授業科目概要   | 配当年次・学期 | 授業時数 | 授業方法 |    |          | 場所 |    | 教員 |    | 企業等との連携 |
|----|------|------|-----------|--|---------|------|------|----|----------|----|----|----|----|---------|
| 必修 | 選択必修 | 自由選択 |           |  |         |      | 講義   | 演習 | 実験・実習・実技 | 校内 | 校外 | 専任 | 兼任 |         |
| ○  | ○    |      | 人間の理解     | 人権思想の歴史的展開や福祉理念の変遷とともに、人間の尊厳や人権、権利擁護について講義し、自立支援の関係性を理解することで適応能力が養われるように講義する。  | 1前      | 30   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○  | ○    |      | チームマネジメント | 介護福祉士にチームマネジメントが求められる背景を解説し、協働のあり方、チームの実践力の向上につながる人材育成、自己研鑽について講義する。   | 2通      | 30   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○  | ○    |      | 介護の基本Ⅰ    | 介護福祉の基本として成り立ち及び概念の変遷、介護福祉士の役割を理解できるように講義する。介護福祉士の倫理を日本介護福祉士会倫理綱領を通して理解し、介護福祉士に求められる専門職としての態度を形成でき、自立支援をICFの視点から講義する。        | 1通      | 60   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○  | ○    |      | 介護の基本Ⅱ    | 介護を受けて生活する人及び生活を解説し、フォーマル及びインフォーマルな支援、地域連携について講義する。介護における安全性及び介護従事者の健康管理が理解でき、リスクマネジメント及び自身のところと身体の健康管理と労働環境の両面から学べるように講義する。 | 2通      | 60   | ○    |    |          | ○  | ○  |    |    |         |
| ○  | ○    |      | レクリエーションⅠ | 利用者個人の自立を目標としたレクリエーション活動の支援方法について学び、福祉現場に即したレクリエーション活動の能力と実践援助能力を習得する。   | 1後      | 30   | ○    | △  |          | ○  |    |    | ○  | ○       |
| ○  | ○    |      | レクリエーションⅡ | 社会福祉サービスにおけるレクリエーションの位置づけを明確にし、高齢者のレクリエーションだけでなく、障害者のレクリエーションをも視野に入れノーマライゼーションの思想の元すべての人々が共存する地域福祉のなかでレクリエーションを展開できる能力を培う。   | 2通      | 30   | △    | ○  |          | ○  |    |    | ○  | ○       |
| ○  | ○    |      | 生活支援技術Ⅰ   | ICFの視点を生活支援に活かすこと意義を理解し、住環境、福祉用具を整備するとともに、介護技術についての講義及び演習を通して修得する。   | 1通      | 120  | △    | ○  |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○  | ○    |      | 生活支援技術Ⅱ   | 利用者の状態に応じた身じたく、食事、入浴・清潔保持、排泄、休息・睡眠について演習を通して修得する。人生の最終段階における介護について、講義する。   | 2通      | 120  | △    | ○  |          | ○  |    |    | ○  |         |
| ○  | ○    |      | 生活支援技術Ⅲ-1 | 障害や疾病により生活上の困りごとを理解するために、医学的・心理的側面から概要を講義し、介護福祉士としてどのような関わりができるのかを事例を交えながら講義と演習により理解する。                                      | 1後      | 30   | △    | ○  |          | ○  |    |    | ○  |         |



|    |   |         |   |        |    |         |   |  |   |   |   |   |
|----|---|---------|---|--------|----|---------|---|--|---|---|---|---|
| ○  | ○ | 認知症の理解Ⅱ | 本人主体の理念に基づいた認知症理念を解説し、認知症ケアの実際を講義する。家族支援に対して介護福祉士の役割を講義し、地域でのサポート体制を解説する。                                 | 1<br>後 | 30 | ○       |   |  | ○ | ○ |   |   |
| ○  | ○ | 障害の理解Ⅰ  | 障害のある人と向き合うための基本的な知識である障害福祉の基本理念、障害者福祉制度を取り上げ、地域生活を支える社会資源、関係機関との連携、関係職種とのチームアプローチのあり方を解説する。              | 1<br>後 | 30 | ○       |   |  | ○ |   | ○ | ○ |
| ○  | ○ | 障害の理解Ⅱ  | 障害の医学的・心理的側面の基礎的知識を講義し、特性に応じた支援を解説する。   | 2<br>通 | 30 | ○       |   |  | ○ |   | ○ |   |
| ○  | ○ | 医療的ケア   | 医療的ケアの実施の基礎として、医療的ケアはどのようなものか、また介護福祉士が喀痰吸引や経管栄養の医行為の一部を担うことができるようになった背景など医療的ケアを安全に実施するための基礎知識の講義と演習を実施する。 | 全      | 62 | ○       | △ |  | ○ |   | ○ |   |
| 合計 |   |         |   | 25     | 科目 | 1082 時間 |   |  |   |   |   |   |